

全米民主主義基金（NED）は相変わらず人権を武器に他者を迫害

ジェレミー・クズマロフ（CoverAction Magazine 編集長）著、脇浜義明訳、田中一弘補訳
CovertAction Magazine, 2024年5月23日 *脚注はすべて訳注

4月9日、CIAの子分で政治的プロパガンダを専門とする全米民主主義基金（NED）が、ロシアで反逆罪などの罪で有罪判決を受け、シベリア刑務所で2年間の服役をしている右翼政治工作員ウラジミール・カラ・ムルザとの連帯を表明するイベントを開催した。カラ・ムルザはロシアと英国の二重国籍者で、教育は英国で受け、生涯のほとんどを西側で過ごした。彼はネオコン・タカ派の故ジョン・マケインと親密で、マケインの葬儀ではひつぎを担いだ。カラ・ムルザとマケインは、ロシア経済に破壊的影響を与えた制裁で新冷戦の引き金と引いた2012年のマグニッキー法¹の成立など、議会に反プーチン措置を推進させるロビー活動を精力的に行った。NEDのイベントでは、カラ・ムルザの妻エフゲニア、反ロシア・親ウクライナの上院や下院の議員、例えば、ロジャー・ウィッカー（共和党、ミシシッピ州）、スティーヴ・コーエン（民主党、テネシー州）、クリス・クーンズ（民主党、デラウェア州）、シェルドン・ホワイトハウス（民主党、ロードアイランド州）、ジーン・シャヒーン（民主党、ニューハンプシャー州）が演説した。

最初の演説者の上院外交委員会委員長のカーディン・上院議員（民主党、メリーランド州）は、2012年12月のマグニッキー法の最初の提案者であった。この法はオバマの署名で成立したが、彼の第一期任期中にリセットが試みられたが、その後米露関係が悪化した。

マグニッキー法の名称は、米国のヘッジファンド・マネージャーのビル・ブラウダーから2億3000万ドルを騙し取ろうとするロシア政府の計画を暴露・告発した、それがために投獄され、獄死したロシア人会計士セルゲイ・マグニッキーの名にちなんでつけられた。マグニッキーとビル・ブラウダーは友人であった。

本当のところは、マグニッキーはブラウダーのような外国資本家の金を外国へオフショアするマネー・ロンダーリングの専門家で、ブラウダーがロシア政府から2億3000万ドルを騙し取るのを手伝ったのである。

NED イベントでは、カーディン上院議員はカラ・ムルザを偉大な人権擁護者とでっち上げて祀り上げ、彼の投獄はプーチンの残虐性を物語っていると述べた。他の演説者たちもプーチンを卑劣な独裁者、大量虐殺者と、まるで儀式の呪文のように繰り返した。

妻のエフゲニア・カラ・ムルザは、夫がプーチンによって毒を盛られて脳を損傷したと述べたが、その証拠はない。ロシア専門家のジョン・ヘルマーは、「セルゲイ・スクパリと娘のユリアやアレクセイ・ナワリヌイなどがプーチンが放った工作員によって毒を盛られたと言われているが、プーチンはそれらの人を毒殺していない」と、私に言った。

カラ・ムルザの父、ウラジミール・アレクセーヴィチ・カラ・ムルザは、当時のソ連首相

¹ 米政府が人権侵害に関わったと判断する個人や団体に資産凍結、入国禁止などの制裁を加える法律で、欧州など34カ国が同じような法律を制定した。

のレオニード・ブレジネフ（1964～1982）を嫌い、ソ連崩壊後の1990年代ボリス・エリツィンを熱心に支持した。彼は、1997年に燃料・エネルギー大臣となり1998～1999年に副首相となったボリス・ネムツォフの顧問となった。ネムツォフは外国資本家がロシア資源略奪を可能にした民営化計画にまつわる汚職に関与した人物であった。

ロシア政府がカラ・ムルザを軽蔑するのは、彼がネムツォフやブラウダーなどとの関係が深いからである。彼とブラウダーは、マグニッキイ法案を推進するロビー活動を行い、マグニッキイに関する偽りの物語を拡散し、プーチンを悪魔化する演説や書き物を広めた。最近では、彼は母国ロシアに敵対して、西側のウクライナ戦争推進政策に協力した。

彼がロシアで反逆罪に問われた根拠の一つは、彼が自由ロシア財団と深い関係にあることである。自由ロシア財団は、民主主義推進を装ってロシアを不安定化させ、ロシア政権の転覆、政権交替、西側寄りの人物への首のすげ替えを狙っている西側諜報機関の前線基地だと言われている。

2017年10月、カラ・ムルザはNEDの『ジャーナル・オブ・デモクラシー』に、プーチンをムツソリーニに喩え、あの1917年11月の革命はクーデターによる権力奪取だという虚偽の主張論文を書き、さらにセルビア、グルジア、ウクライナで西側諜報機関の協力で実現したカラー革命をロシアでも行うべきだと書いた。

彼はボリス・エリツィンを称賛し、エリツィンは1996年に「自由競争選挙」を実施して勝利した民主主義者で、あときは米国の大規模な支援干渉があったから成功したのだと主張した。しかし、エリツィンが1993年10月にロシア議会議堂を襲撃した事件は故意に無視した。

隠されたアジェンダ

カラ・ムルザ収監批判及び釈放要求は、それはそれとして非難すべきことではないが、NEDがカラ・ムルザ事件を強調するのにはもっと邪悪な狙いがあることは確かである。その狙いとは、プーチン政権を悪魔化し、ロシア政権交替、首のすげ替えを支援することである。

ソ連崩壊後、米国のネオコンは中央アジアを支配してその豊かな原油と天然ガスを自由にできると喜んだ。それを実現するためにはロシアが邪魔で、ロシアを弱体化させなければならなかった。その期待に応えてくれたのはボリス・エリツィン政権（1991～2000）で、エリツィンは欧米企業がロシア経済に食い込むのを許可した。

プーチンがエリツィンやネオコンが破壊したロシア経済を立て直し、ロシア人の手に戻し、米国の中央アジア支配を許さない姿勢を明確にしてから、NEDを先頭に米国のロシア政権交替²の策動がフル稼働するようになった。その策動の一つがウクライナ戦争で、ロシアを泥沼戦争に引きずり込んで消耗させ、米主導の制裁を課し、ロシアの軍事力を枯渇させ。

² あるいはロシアの少数民族を扇動してロシアを分断、小さな国の乱立状態にして、力を弱める戦略もあった。

経済を破綻させるを目的としていた。ロシアを孤立させるために激しい反ロシア・プロパガンダを世界的に展開し、専制主義プーチン批判という世論を形成し、ロシア人をプーチンへの造反に動員する戦略を、カラ・ムルザやナワリヌイらを支点にして行った。

2023年3月、バイデン政府は、ロシア当局が不当にもカラ・ムルザを逮捕したとして、6人のロシア人高官にマグニッキ法に基づく制裁を課した。カラ・ムルザ事件を、すでに記録的水準に達していた制裁をいっそう強化するために、利用したのだ。

ウクライナの大規模な人権侵害に沈黙

NEDはウクライナ当局が多くの政治犯を人権剥奪して収監していることには何も言わない。そのことから、米欧が民主主義と自由の旗手として支援するウクライナ政権の偽善と人権に関する二重基準が明白である。その政治犯の一人ボグダン・シロティウクは社会主義者で、4月25日に、CIAが助成して育てたウクライナ保安庁(SBU)によって逮捕された。

国際的トロッキスト運動の活動家ディヴィッド・ノースは、25歳のシロティウクはウクライナの領土保全を損ない、ロシアの利益のために働いたという嘘の容疑で逮捕され、ニコラエフにある刑務所の極悪な条件下で収監されている、と書いている。SBU 職員はシロティウクのアパートの部屋と事務所をガザ入れし、ロシアの軍服、Zの文字の刺繍入りのバックパック (Zはロシア軍の大国主義を表す文字)、ガス・マスクを見つけたと発表した。ノースはそれらの品物はSBUがシロティウクを陥れるために置いたものと見ている。

SBUの破廉恥きわまるゲシュタポの手口はウクライナ社会では周知のことである。

ノースは、シロティウクをプーチン政権とその特別軍事作戦(SMO)の支持者にでっち上げたのは政治的に馬鹿げた試みと述べている。何故なら、シロティウクは「ウクライナとロシアの両方の寡頭資本主義政府」に反対するトロッキスト青年組織の主要メンバーであるからだ。彼らはロシアの侵攻を非難し、ロシアとウクライナの労働者階級の人々に統一行動を呼びかけているからだ。

シロティウクはゼレンスキー政権から迫害された多くの左翼の一人である。ゼレンスキーはすべての左翼政党を禁止した。ウクライナ議員の社会党党首のイリヤ・キヴァは、12月にモスクワで、ウクライナ人暗殺者に銃で撃たれ、ナイフで刺されて、死んだ。

SBUはこの社会党党首殺害を公然と自慢気に宣伝、キヴァの死体が血に染まった雪の中に横たわり、傍らの木の枝に凶器が吊るされている映像をネット配信した。さらに暗殺者が待ち伏せた場所をふざけて「赤じゅうたん」の「オフィス」と名付けた場所と、殺害後に近くのバス停へ逃げるルートを示すビデオ映像も配信した。まったく不穏でグロテスクな所業である。

ノースは、「ボグダン・シロティウク同志の逮捕は、戦争反対者と労働者階級全体に対するゼレンスキー政権の残酷な弾圧パターンの一つであり、ロシアに対する米とNATOの戦争は民主主義擁護の闘いであるという主張は真っ赤な嘘であることを示している」と、正し

く的を射て、書いている。さらに、「ウクライナは警察国家である。ウクライナ国民は戒厳令に縛られている。選挙は取りやめとなり、ゼレンスキーが独裁者として支配している。彼が従うのは人民ではなくて、NATO スポンサーの命令、寡頭資本家の経済的利益、ネオナチ勢力の要求だけである。」とも書いている。ゼレンスキーはネオナチの暴力で国民を怯えさせて統治している。

NED がこういうことに沈黙している事実は、NED の詐欺的本質と NED を支持する議員たちの虚偽を明らかにしている。NED が米国政府の敵の人権侵害を問題にするのは、それが米の帝国主義的政策の役に立ち、敵の政権交代に利用できるときだけである。